

## 五稜郭タワー 部活とボクと、時々、旅行

市立釧路総合病院 初期研修医

まつだ のぶあき  
松田 展明

初めまして。市立釧路総合病院研修医1年目の松田展明と申します。今回は大学時代のスキー部同期、上野裕生先生よりご紹介いただきました。彼は大学時代クロスカントリーの良き仲間でありライバルでした。クロスカントリーを盛り上げるために様々な活動に奔走していた姿を覚えています。特に昨年の冬、6年時の旭川での東医体。彼をはじめとした同期達のとある活躍により、競技最後のメのリレーは大いに盛り上がりましたね。執筆の機会をいただきありがとうございます。

さて、本エッセイのテーマは完全に自由と伺い、当初は私の大学生活の象徴であるスキー部について書こうと思っておりました。しかし、紹介元の上野先生はきっと、いや間違いなくスキー部について書くだらうと思ひ、内容が被るのも如何と考え直し、部活に並ぶ思い出、友人達との旅行について寄稿させていただきます。よろしくお願ひします。

まず、自分はずっと旅行するメンバーが5人いました。まずは1人目、ヒョロガリおじさん。彼は旅行の企画・手配等を率先してやってくれ料理もできるスゴイ人でしたが、毒蛇にかまれたり重病になったりと多難な男でもありました。次に、童顔マッチョ。彼は真面目で学業優秀でしたが、少々金銭感覚が終わっているという残念な面もある友でした。それと、嘘つき競馬おじさん。根は優しいが絶妙に見抜けぬ嘘を平気で吐く、良き友人かつ詐欺師でした。そして、米。いつも青白い顔をしており、気づけばあだ名が米になっていました(今思うとひどい話ですね)。このような愉快的仲間たちと、自分。陽気で阿呆な5人組で行くも行ったり東西南北。コロナの折の数年間はずっと活動ができませんでしたが、特に低学年の頃は隙あらば旅路に就いていました。

思い出に残った旅行は多数いや無数にあります。今回は厳正な審査のもと、第5回企画：積丹を食べつくす会について書かせていただきます。

### day 0

往々にして、なぜか旅行の計画はテスト勉強中に思いつきます。抑圧された脳が遊びを求めているからでしょうか。御多分に漏れず今回も2年生の前期試験前、勉強中にヒョロガリおじさんと企画を練りました。

まず、どこに行くか。いくつか候補がありましたが、徹底討論の結果、道内旅行の王道中の王道、函館に決まりました。次に、どうやって行くか。自転車で行く、という北海道素人のような案(ちなみに



釧路市出身。札幌医科大学卒業。スキー部では学内だけではなく他大の同期にも懇意にしてもらいました。今夏スキー部同期の結婚式があり、再結集できるその日を楽しみにしております。その日は泣かないように頑張りたいものです。

当時の愛車(折り畳み自転車)も出しましたが、最終的に童顔マッチョの実家の車をお借りすることになりました。では、どんな旅行にするか。企画者達の様々な試行錯誤の末、各地の観光名所で「企画」と称した簡単なゲームを行い、その順位に応じたポイントを獲得、最終日に合計のポイントで争うという形にしました。もちろん順位に応じた景品もこっそり用意し、皆で楽しく熱く、そして醜く争う旅行にしようという算段で準備を進めていきました。

### day 1

さあ、集合時間は夜の12時。夜の12時です。昨日ひいては今日の昼に最後の科目、分子生物学を終え、長いテスト期間お疲れ様でしたという感覚冷めやらぬ時です。なぜこの時間に集合になったのでしょうか？企画者の二人以外に行き先を隠すためです。外がよく見えない夜間に移動し、三人は明るくなったとき知らないところにいる、という人生稀にみる体験を提供できると当時の自分達は考えた記憶しております。

そしてなんだかんだと、出発へ。午前2時フミキリに♪、と昔流行った曲をかけ、5人を寿司詰めにした車のエンジンに火がとまります。札幌から定山溪を越え、洞爺湖であろう暗闇を左手に眺めつつ、噴火湾に差し掛かった車は南へ南へと。気付けば後ろの席の三人は眠りの渦の中へ沈んでいました。

長万部のセイコーマートで休憩をはさみ車は再び動き出します。漁火灯る姿はイカ釣り漁船でしょうか。あそこで釣れたものが数時間後胃袋の中にある、そんなくだらない話から、世界の歴史と日本のこれから、人生の意味など身の丈に合わない大仰な話をしつつ顔を上げれば朝焼けが。あつと言う間の5時間のドライブを終え、朝5時30分、目的地の函館朝市へとたどり着いたのでした…。

こんな学生時代を過ごした私ですが、初期研修が始まりました。足りないことや未熟なことばかりですが、周囲の様々な方に支えられ充実した日々を過ごせています。一人前の医師になれるよう残りの日々も努力し、実りあるものにしようと思います。最後までお読みいただきありがとうございました。